



2026 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 ジオスター株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 堀田 穰
(コード番号 5282 東証スタンダード)
問 合 せ 先 管理本部企画・経理部長 石井 一史
(TEL 03-5844-1201)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2030 年度を最終年度とする中期経営計画「CAST THE FUTURE 2030」を決議致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社が目指すべき姿
 - ・インフラ建設への貢献を通じ、将来にわたって存在価値を認められる企業
 - ・働く人が正々堂々と仕事に取組み、生き活きと能力を発揮できる企業
 - ・企業価値を高め、持続的な成長を通じて、市場からより高い評価を得る企業
2. 実現に向けた 5 つの戦略
 - ・製品ポートフォリオの抜本的見直し
 - ・将来に向けた成長戦略
 - ・「稼ぐチカラ」の再構築
 - ・財務戦略
 - ・サステナビリティ経営の推進
3. 業績目標（2030 年度）
 - ・売上高 300 億円
 - ・経常利益 15 億円以上

詳細については次頁以降をご参照下さい。

※上記業績目標は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上

CAST THE FUTURE 2030

中期経営計画

2027年3月期～2031年3月期

ジオスター株式会社

2026年2月6日

東証スタンダード市場:5282



GEOSTR



型を超えて、
未来を型とる。

目次

ジオスターの歩み	➤	p.3
事業環境の認識と当社の事業機会	➤	p.5
中期経営計画 「CAST THE FUTURE 2030」	➤	p.6
参考資料	➤	p.15

ジオスターの歩み：「人の満足を支える」という揺るぎない使命

50年の間に積み上げてきたもの

社会インフラへの貢献を通じて
築いた確かな信頼

セグメント製品※における
確固たるチャンピオンポジション

※地下トンネル建設に用いられる部材の名称

確かな技術力と課題解決力を
備えた“プロ集団”

プレキャスト工法※がもたらす
社会的価値

※プレキャスト工法の詳細はP.15をご参照ください

1970年

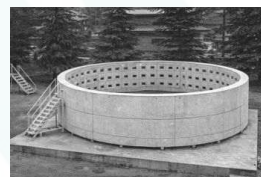
八幡製鐵(株)(現・日本製鉄(株))
および(株)熊谷組との
折半出資により、
プレスコンクリート(株)を設立

1970年

社名変更
日本プレスコンクリート(株)

1992年

東京湾横断道路
(アクアライン)向け
世界最大径(当時)の
シールドトンネル
セグメント製造開始



リング組立試験状況

1995年

社名変更
ジオスター(株)

1995年
新規上場
東証第二部

2011年

東京エコン建鉄(株)の
買収により、
新日本製鐵(株)
(現・日本製鉄(株))の
子会社となる

2022年

市場移行
東証スタンダード

「矢板からセグメントへ」という、
革新の精神が受け継がれる

ジオスターの成長ストーリー：「CAST THE FUTURE 2030」に込めた想い

「型を超えて、未来を型どる」 社会インフラの安心・安全を、次の世代へ

ジオスターが目指す「CAST(型どる)」とは、単なる製品づくりにとどまらず、社会インフラの安心・安全を将来にわたり支え続ける価値を創り出すことです。

その実現には、技術の進化とともに、働く人がいきいきと力を発揮できる環境づくりが不可欠です。私たちジオスターは、「歴史とDNA」を起点に、「人的資本の強化」を経て「新たなイノベーションへの挑戦」へとつながる変革の好循環を生み出し、持続可能な未来を着実に型どっていきます。

事業環境の認識と当社の事業機会

政策動向

- 2026年4月始動「第1次国土強靱化実施中期計画」
- 2050年カーボンニュートラル宣言

事業環境

- 国土強靱化投資を背景とした公共工事の堅調な推移
- 人手不足の深刻化と省人化・短工期ニーズの高まり
- 低炭素・環境配慮型資材へのシフト加速
- セグメント製品市場の競争激化(レッドオーシャン)
- 各種コスト高止まりによる事業運営コスト上昇

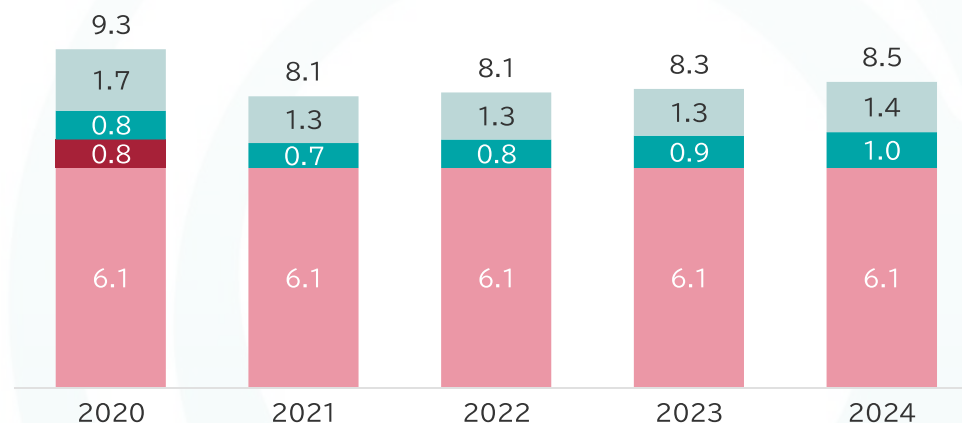
当社の認識と主な事業機会

- 社会ニーズ(国土強靱化・人手不足・環境配慮)に対応したプレキャスト製品の開発・提案による競争力強化
- 販売価格の適正化とセールスマックス最適化による収益力向上

公共事業関係費(政府全体)の推移

(兆円)

■ 当初予算 ■ 緊急対策 ■ 補正予算 ■ 加速化対策



業界において重要な公共事業関係費は安定して推移

出典:国土交通省「公共事業関係費(政府全体)の推移」

中期経営計画の骨子

経営理念

私たちは、「人の満足を支える」ことを使命とする「ジオウェア・メーカー」です。

「ジオスターが 目指すべき姿」

- インフラ建設への貢献を通じ、将来にわたって存在価値を認められる企業
- 働く人が正々堂々と仕事に取り組み、いきいきと能力を発揮できる企業
- 企業価値を高め、持続的な成長を通じて市場からより高い評価を得る企業

中期経営計画2027年3月期～2031年3月期 【CAST THE FUTURE 2030】

「目指すべき姿」実現に向けた5つの戦略

戦略1

製品ポートフォリオ
の抜本的見直し

戦略2

将来に向けた
成長戦略

戦略3

「稼ぐチカラ」の
再構築

戦略4

財務戦略

戦略5

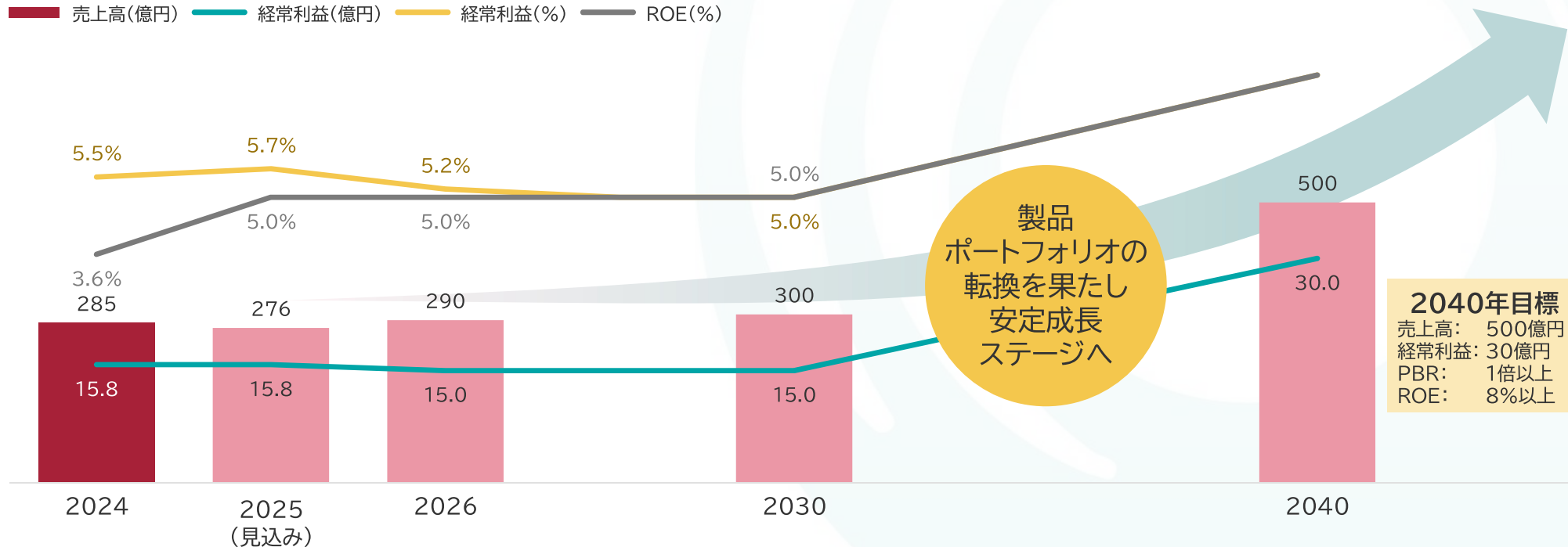
サステナビリティ
経営の推進

中期経営計画のタイムライン

製品ポートフォリオ転換と持続的成長を実現する5か年計画

2030年に **売上高** **300億円**以上 **経常利益率** **5%以上**(安定確保) **経常利益** **15億円**以上(目標20億円) **ROE** **5%以上** を実現

■ 売上高(億円) ■ 経常利益(億円) ■ 経常利益(%) ■ ROE(%)



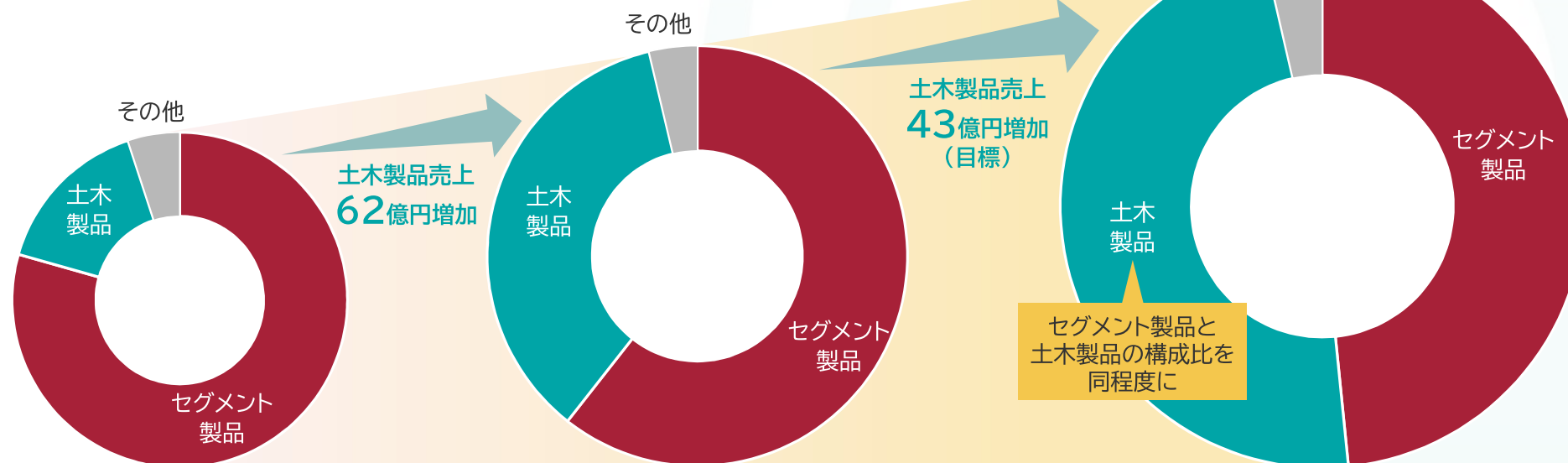
戦略1 製品ポートフォリオの抜本的見直し

- セグメント製品の安定収益を基盤に、利益率の高い土木製品を重点育成
- 主力土木製品の拡販に加え、新規分野(防衛・建築等)・プレキャスト拡大など成長領域を強化

2022

2024

2030



戦略2 将来に向けた成長戦略

- 環境対応・省人化ニーズを成長機会と捉え、投資・技術・連携を通じた事業成長を加速

新たな事業拡大への挑戦

M&Aを含む積極的な投資策の実施



- カーボンニュートラル対応製品の採用拡大を見据えた、製品開発・設備投資を強化
- 企業総合力強化に向けたM&Aの検討

プレキャスト普及拡大に向けた活動の推進

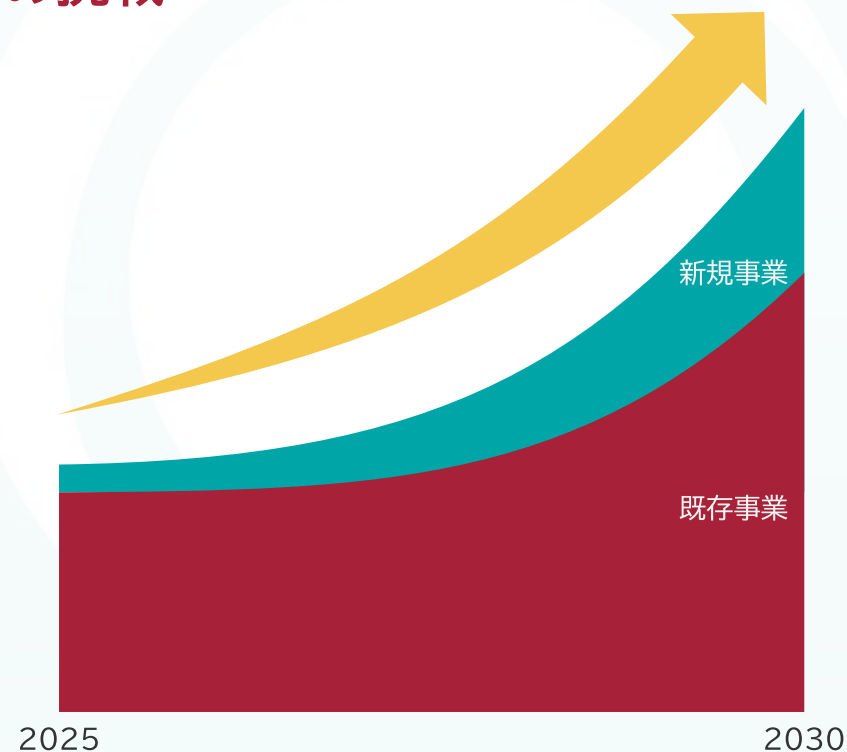


- 人手不足・短工期対応として、施工効率向上に寄与するプレキャスト製品の価値訴求を強化
- 国内プレキャスト利用率は13%※と低水準であり、今後の普及拡大の余地あり
※日本コンクリート工学会

日本製鉄グループとしての戦略的優位性



- 土木製品分野における高い企業競争力を発揮
- 生産技術・利用技術の共有：日本製鉄（鋼材）×当社（コンクリート）の組み合わせで相互補完
- グループ複数企業製品のセット提案等、グループシナジーを最大化



戦略3 「稼ぐチカラ」の再構築

- 製品ポートフォリオの抜本的見直し、将来に向けた成長戦略、財務・サステナビリティ戦略を一体的に推進し、中期経営計画「CAST THE FUTURE 2030」の核心である「稼ぐチカラ」の再構築を実現

重要経営指標

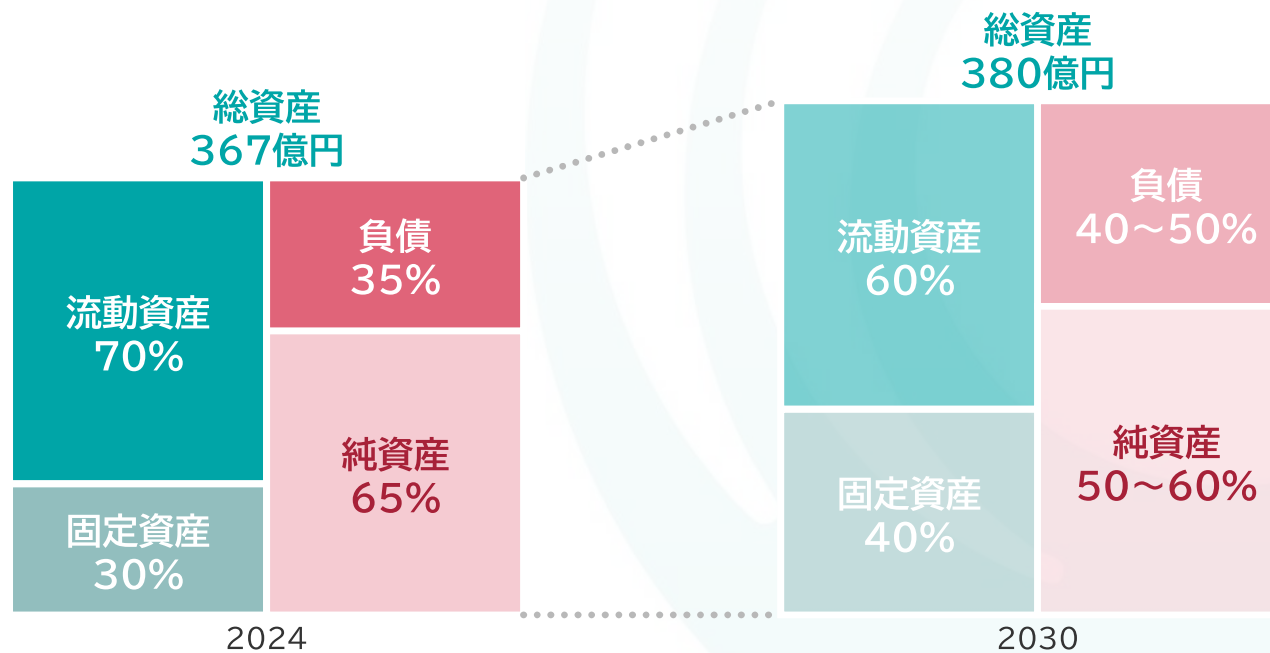
稼ぐチカラの向上(資産の価値創出)	ROE5%以上
安定収益基盤の確立	経常利益率5%以上(安定確保)
社会からの信頼を獲得	売上高300億円以上
人材成長と付加価値の循環	経常利益15億円以上(目標20億円)

	2025	2030	2040
ROE	5%	5%以上	8%
売上高	276億円	300億円	500億円
経常利益	15.8億円	15億円	30億円

戦略4 財務戦略：バランスシート目標

- 財務健全性と資本効率の両立による最適なバランスシートの構築
 - ・ 成長戦略への純資産有効活用により自己資本比率を最適化
 - ・ 株式保有方針の見直し(政策保有株式の縮減、自己株式取得への活用)

最適なバランスシートを構築して、ROEを5%以上へ

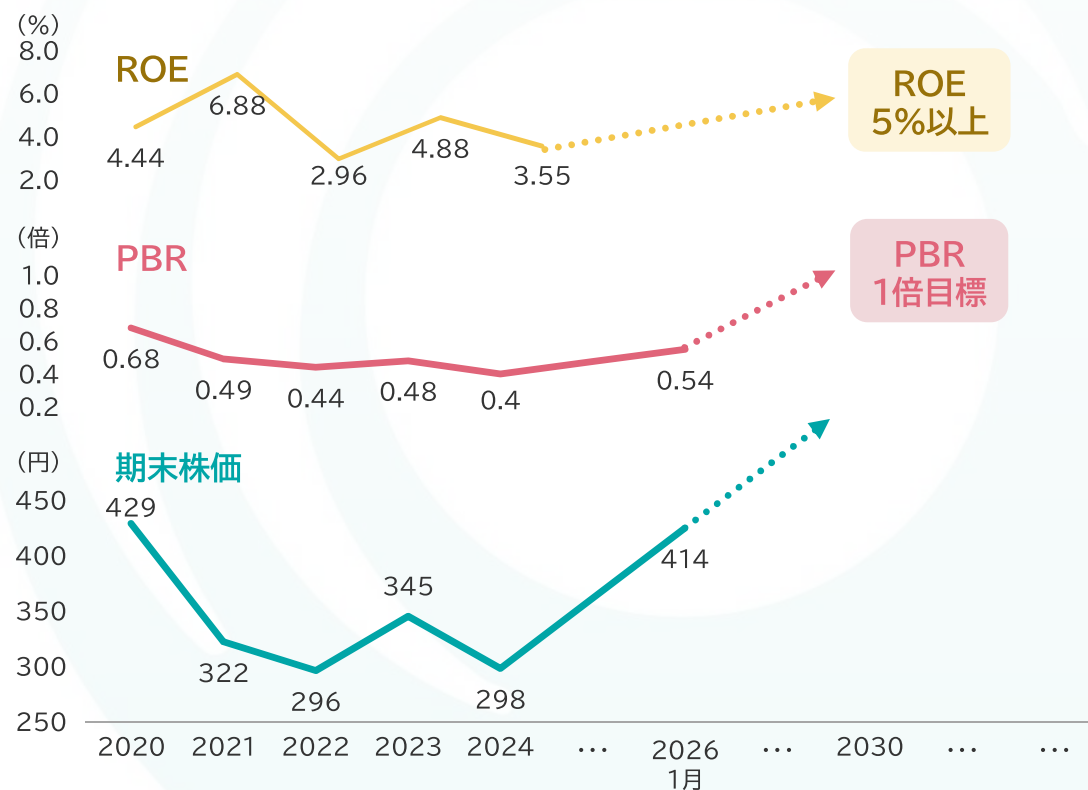


戦略4 財務戦略：株価を意識した経営の推進

- PBR(約0.5倍)⇒当社の技術力や社会インフラ領域における安定収益が市場評価に十分反映されていないと認識
- 株主還元強化等を通じた当社株式の魅力向上が必要

市場評価 の改善 (PER、PBR)	株主還元 の強化	安定配当の継続 ● 配当性向30%程度の維持 ● 配当の下限値の設定 (中計期間中は年間配当金下限10円)
	情報発信 の強化	● 中期経営計画 「CAST THE FUTURE 2030」を 起点とした積極的な市場対話の強化 (2026年より工場見学会実施予定) ● カーボンニュートラル対応をはじめとする ESG情報の積極的な情報開示

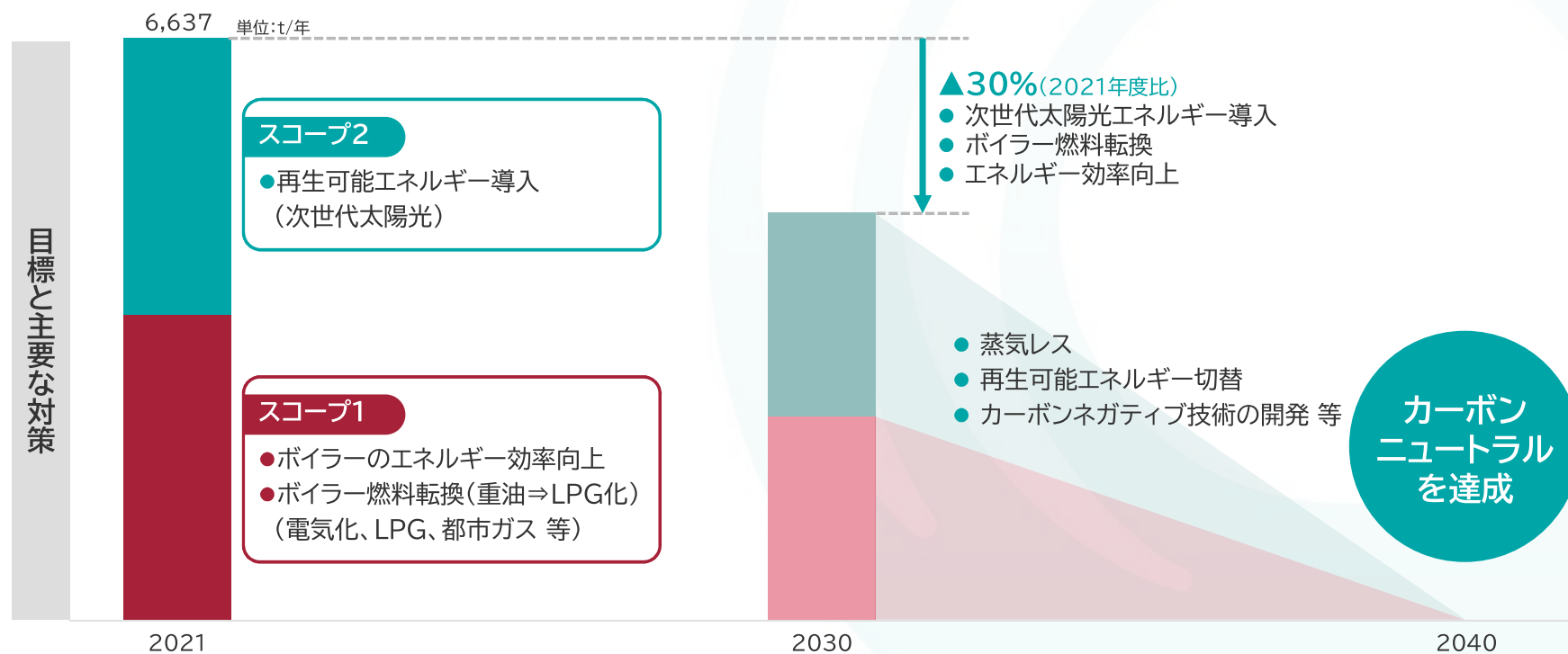
業績上昇による配当額アップで還元強化



戦略5 サステナビリティ経営の推進：カーボンニュートラルへの挑戦

- カーボンニュートラル(E)への取り組みを起点に、社会(S)・ガバナンス(G)の実践を通じた経営基盤の強化
- 政府目標(2050年)に先駆けた、2040年(努力目標)温室効果ガス排出量ゼロの実現

カーボンニュートラル達成へのロードマップ



戦略5 サステナビリティ経営の推進

Social

人的資本の強化と
能力を発揮するための
職場づくり

- 処遇・就業環境の改善
- 育成体制の強化
- コミュニケーション活性化によるエンゲージメント向上

Governance

コーポレートガバナンス強化

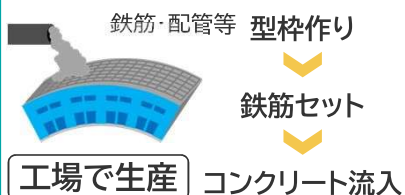
- 盤石な内部統制の構築(安全・環境・品質・コンプライアンス)
- 親会社である日本製鉄(株)との緊密な連携のもと、
自主経営・独立性を維持し適切なガバナンスを確保

DX戦略

- IT化による業務標準化・効率化と人材配置の最適化
- 品質向上と生産性向上に資するDX技術の導入

プレキャストコンクリート工法の6つのメリット

1 計画的生産が可能



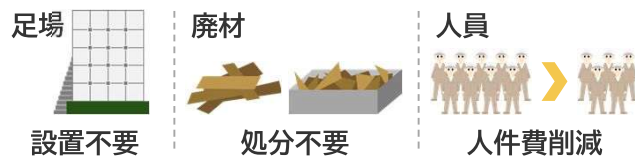
人員の数



2 高品質で安定



3 コスト削減



4 工期の短縮



5 危険リスクの減少

現場打ちのコンクリート

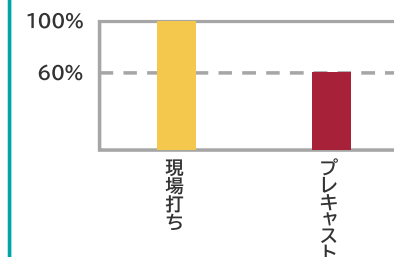


室内なので問題なし



6 環境への配慮

産業廃棄物の排出



騒音の軽減



会社概要(2025年3月末現在)

社 名 ジオスター株式会社
(GEOSTR Corporation)

本 社 東京都文京区小石川1-4-1
住友不動産後楽園ビル

事業内容 土木コンクリート製品および
金属製品の製造販売、工事請負
(国内:5工場・1事業所・7支店/営業所)

代 表 者 代表取締役社長 堀田 穰

創 業 1958年12月

資 本 金 33億5,225万円

従業員数 連結465名 単体288名

主要拠点



主要製品

—— 安心・安全な社会を形づくる、コンクリート土木製品「ジオウェア※」を展開 ——





本資料および当社IRに関するお問い合わせ先
ジオスター株式会社 管理本部

 03-5844-1201

 <https://www.geostr.co.jp/>

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任をおいしません。